

第8章 今後の課題

➤ シミュレーションの再現性検証

作成したデータセットを用いて、現在開発中の「AVENUE」の再現精度を検証する。
これによりデータセット自身の新たな問題点の抽出にも繋がりデータセットの充実に繋がると思われる。

➤ データベースの充実

ユーザーインターフェイスの部分を工夫し、利用しやすいサイトを構築する。
データの種類を増やし、より汎用性を高めれば使用される頻度も高まりデータセットの一般化の促進に繋がると思われる。

➤ データセットの精度向上

上記のシミュレーションの再現性検証の結果からフィードバックし、公開用データセットの精度向上を行う。

また、インターネットの公開サイト内にアンケートフォームを用いてデータ利用者の意見を取り入れ、データの精度向上を行う。

➤ システム環境の安定化

現在の公開システムは、WWW サーバがダウンしやすい、転送速度が遅い、セキュリティ面などの問題点がある。WWW サーバに関しては、WWW サーバソフトのアップグレードや UNIX の使用が考えられる。転送速度に関しては、専用線の使用、CGI の使用の制限、TXT バージョンの充実が考えられる。セキュリティ面では、パスワードのかけ方に注意し、アクセス制限の強化を行うことで今よりも高いセキュリティが望める。

参考文献

- (1) (社)交通工学研究会：『平面交差の計画と設計 - 基礎編』
- (2) 吉井稔雄，桑原雅夫，森田緯之：『都市内高速道路における過飽和ネットワークシミュレーションモデルの開発』，交通工学 Vol.30 No.1，1995
- (3) 花房比佐友，山口智浩：卒業論文『交通シミュレーションシステム検証用データセットの構築』，1997